

参考資料

# 2016年度第1四半期 業績の概要

---

2016年8月10日

ソニー銀行株式会社

# 損益の状況(1):財務会計ベース

## <連結・単体>

金額は億円未満切捨て、%は四捨五入で表示

(億円)

### <連結>

- **業務粗利益**  
前年同期比2億円減少の57億円。
- **経常利益**  
同10億円減少の7億円。
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**  
同7億円減少の5億円。

### <単体>

- **業務粗利益**  
同3億円減少の50億円。  
貸出金利息の増加により資金運用収支は増加したものの、お客さまの外貨取引が低調だったことなどから、その他業務収支が減少。
- **経常利益**  
同11億円減少の7億円。  
新カードローンなど顧客層拡大のための先行投資に係る営業経費の増加もあり、減益。
- **四半期純利益**  
同7億円減少の4億円。

	<3ヶ月累計>	2015年度 1Q	2016年度 1Q	前年同期比	
連結	業務粗利益	60	57	△2	△4.6%
	経常利益	18	7	△10	△58.6%
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	12	5	△7	△59.5%

単体	業務粗利益	53	50	△3	△6.5%
	資金運用収支	39	41	+1	+4.1%
	役員取引等収支	0	△1	△1	-
	その他業務収支	13	10	△3	△23.2%
	営業経費	35	42	+7	+20.6%
	業務純益	18	7	△10	△58.7%
	経常利益	18	7	△11	△61.5%
	四半期純利益	12	4	△7	△60.7%

## 損益の状況(2): 社内管理ベース

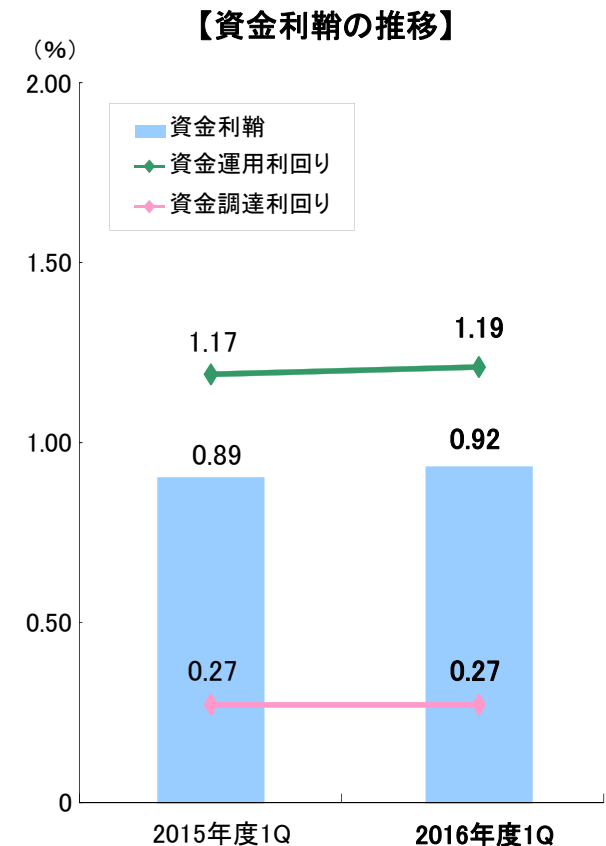
< 単体 >

- コアベース業務粗利益は、住宅ローンは好調に推移したものの、外貨や投信関連の手数料収入が減少したことなどにより、前年同期比減少。
- 資金利鞘は0.92%と、貸出金利回りの低下を外貨運用に係る利回りの上昇が下支えし、一定の水準を維持。

(億円)

<3ヶ月累計>	2015年度 1Q	2016年度 1Q	前年同期比	
業務粗利益	53	50	△3	△6.5%
資金収支*1①	45	47	+2	+5.2%
手数料等収支*2②	2	△0	△3	-
その他収支*3	5	2	△2	△46.4%
コアベース業務粗利益(A) =①+②	48	47	△0	△1.9%
営業経費等③	35	42	+7	+20.2%
コアベース業務純益 =(A)-③	12	4	△8	△64.4%

金額は億円未満切捨て、%は四捨五入で表示



● 社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

- \*1 資金収支…資金運用収支+その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
- \*2 手数料等収支…役務取引等収支+その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
- \*3 その他収支…その他業務収支より\*1と\*2の調整分を控除したもの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益

● コアベース 社内管理ベースのその他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの

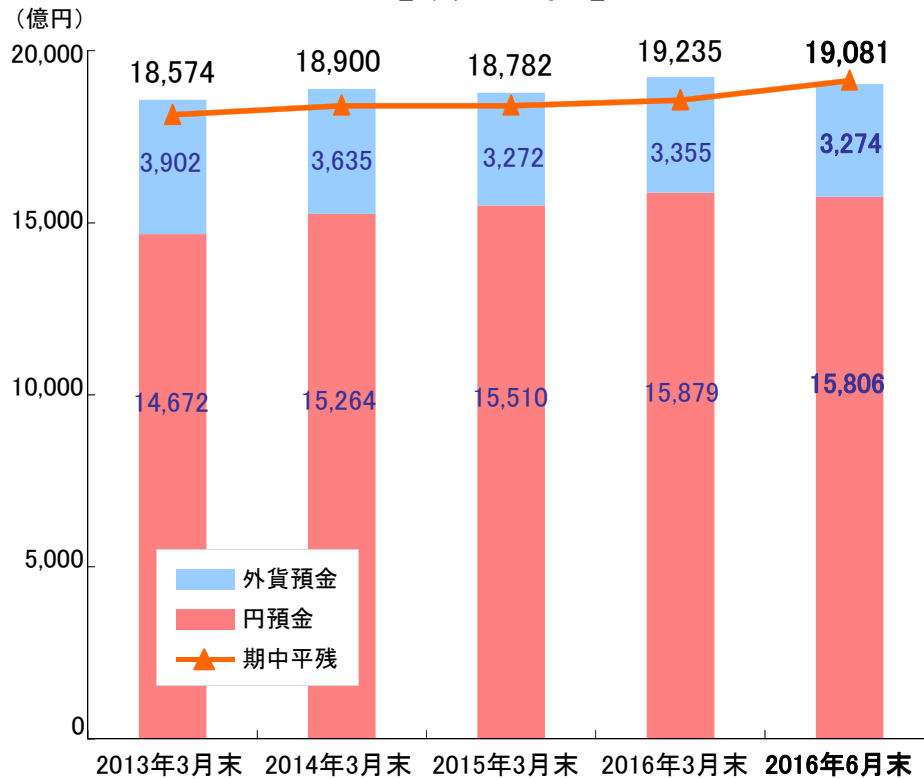
# 預金の状況

<単体>

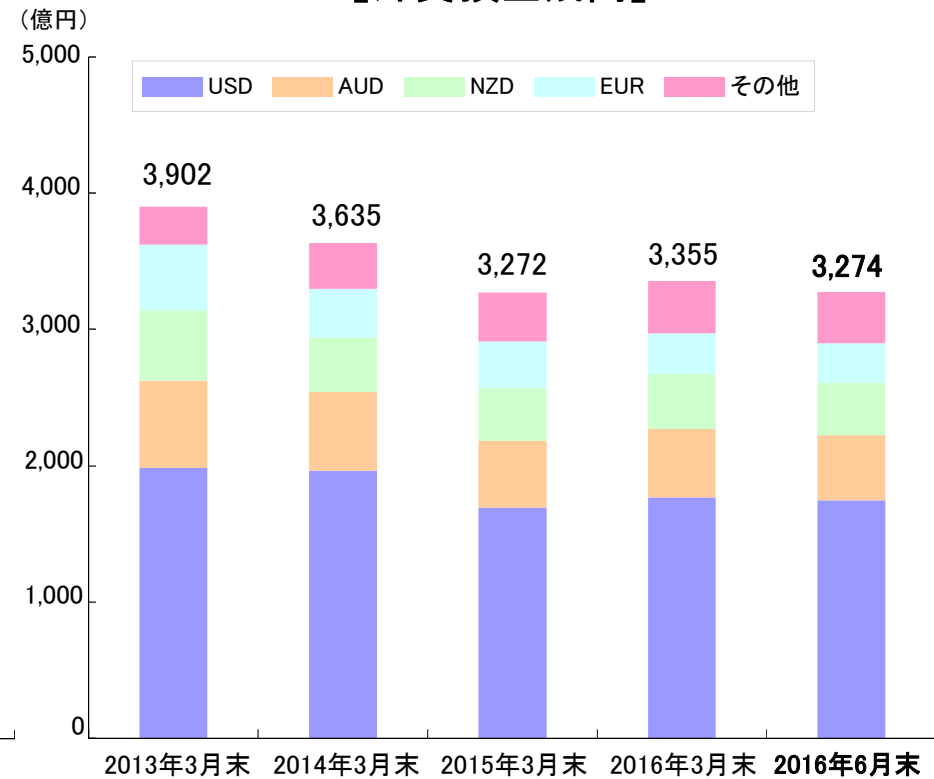
- 預金残高は前年度末比153億円減少の1兆9,081億円。円預金残高は、普通預金は増加したものの定期預金が減少し、微減。外貨預金残高は、円高進行で外貨購入は進んだものの、円高による円換算の影響により、減少。
- 2016年6月末の預かり資産残高(預金+投資信託)は2兆136億円。

金額は億円未満切捨てで表示

【預金残高】



【外貨預金残高】

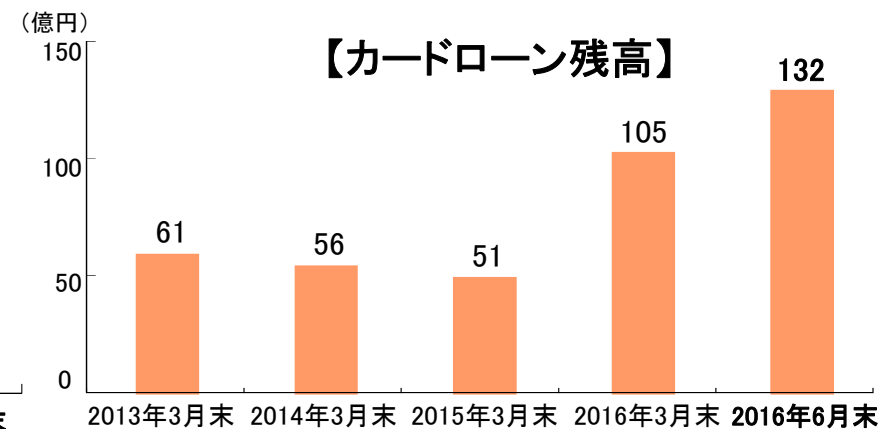
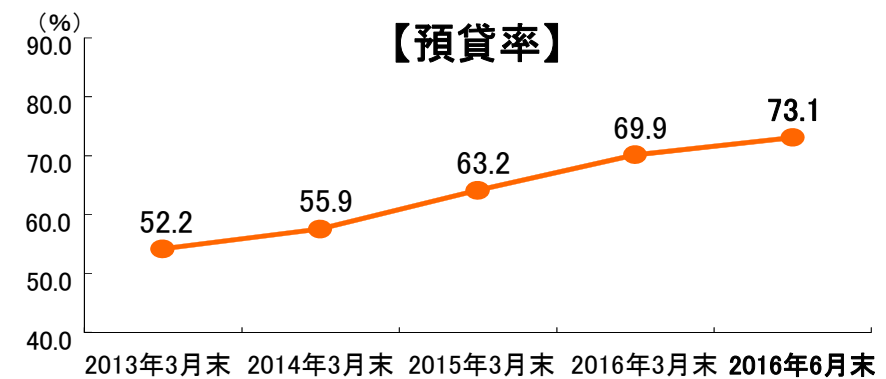
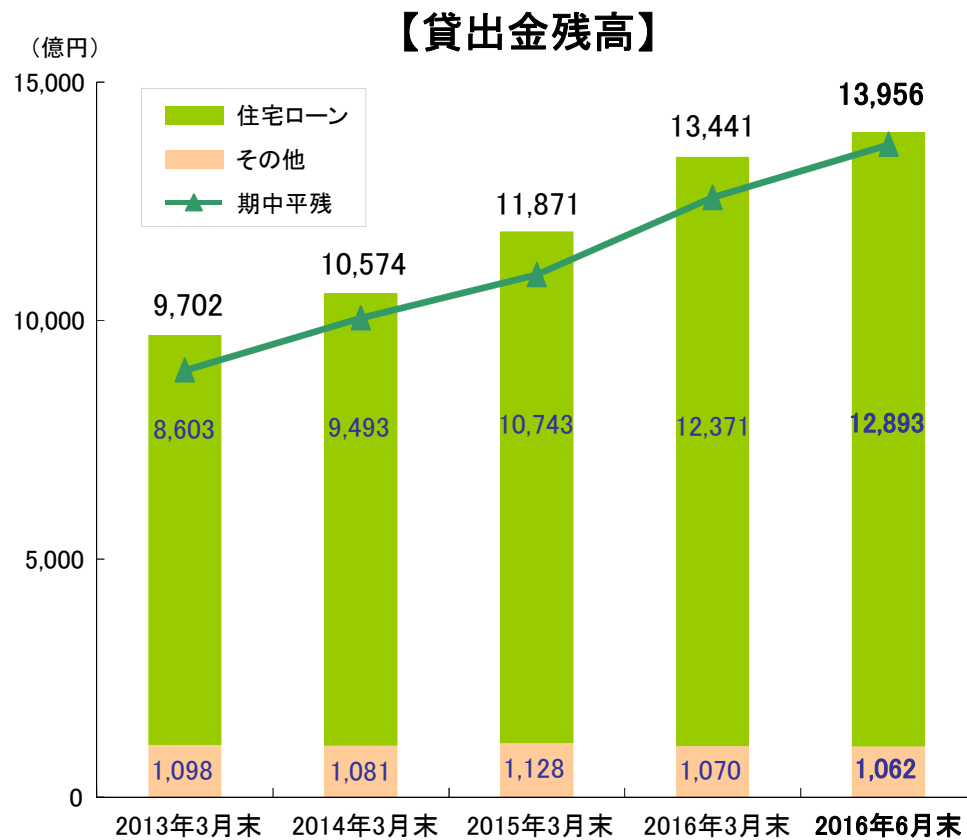


# 貸出金の状況

＜単体＞

- 貸出金残高は借り換え需要の高まりに伴う住宅ローンの好調により、前年度末比514億円増加の1兆3,956億円。
- 2015年7月に再開したカードローンも順調に積み上げ、残高は同26億円増加の132億円。

金額は億円未満切捨て、%は四捨五入で表示



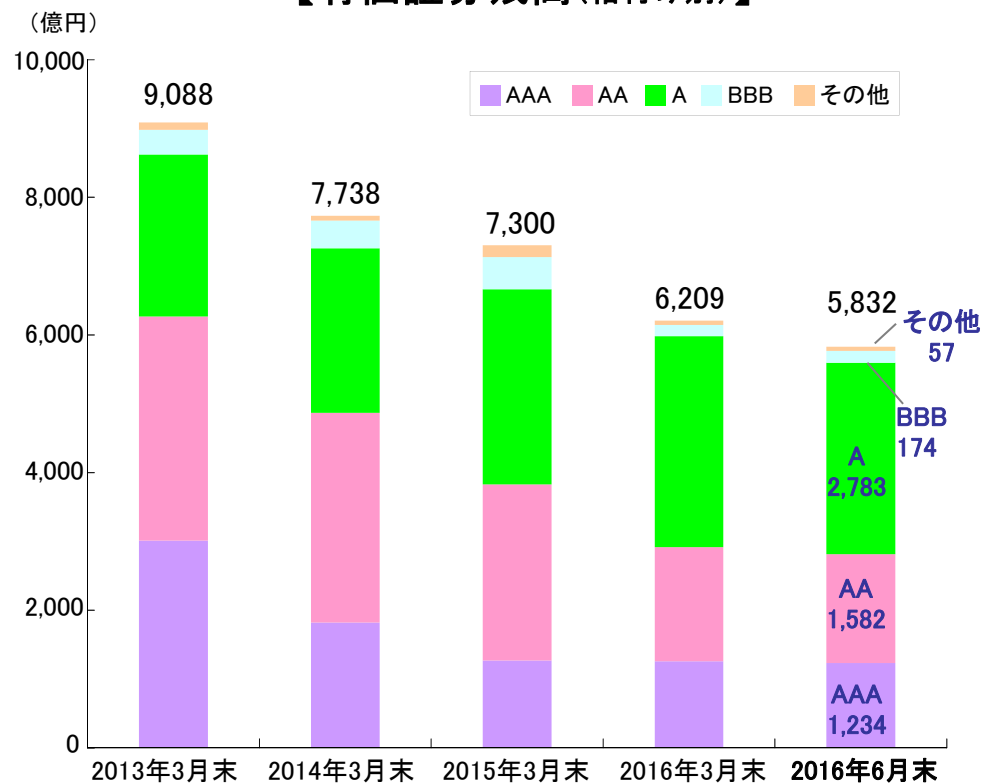
# 有価証券の状況

< 単体 >

- 有価証券は高格付けの債券で安定的に運用。引き続き、AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。残高は前年度末比377億円減少の5,832億円。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は39億円。

金額は億円未満切捨てで表示

【有価証券残高(格付け別)】



【その他有価証券の内訳】

(億円)

	2016年3月末	2016年6月末
<b>債券</b>	<b>1,756</b>	<b>1,756</b>
国債	735	755
地方債	378	368
社債	643	633
<b>その他</b>	<b>4,359</b>	<b>3,980</b>
外国債券	4,310	3,935
その他の証券	48	44
<b>合計</b>	<b>6,115</b>	<b>5,737</b>
< その他有価証券評価差額金 (税効果会計適用前) >	< 41 >	< 39 >

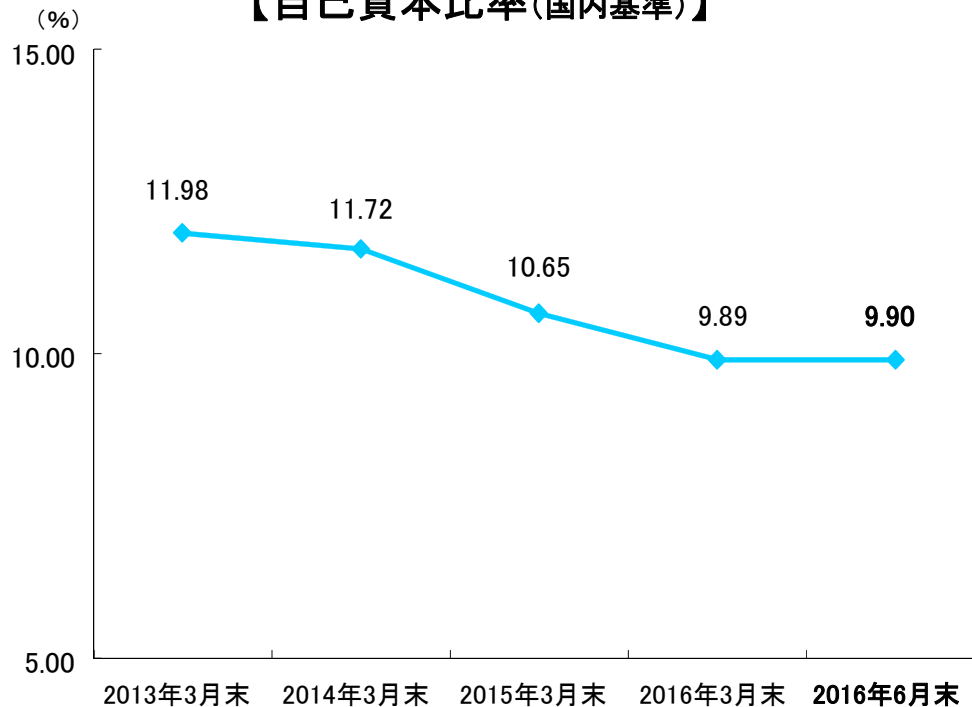
※時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳  
 貸借対照表の「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載  
 その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)の金額は億円未満四捨五入で表示

# 自己資本比率・格付け情報

< 単体 >

- 自己資本比率は9.90%と健全な水準を維持。

【自己資本比率(国内基準)】



※平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出。なお、2014年3月末より、バーゼルⅢベースへ移行。

【格付け(2016年6月末現在)】

スタンダード&プアーズ	
長期カウンターパーティ格付け「A」	アウトルック「安定的」
短期カウンターパーティ格付け「A-1」	
日本格付研究所	
長期発行体格付「AA-」	見通し「安定的」